

<白金標準、春節明けに向けた底張り相場・・・>



(出所：オアシス)

中国消費者物価指数が4ヵ月連続の低下で-0.8%と、14年4ヵ月ぶりの大きさであったことから中国の経済低迷が続く観測が拡がりを見せ中国の株価の下落が続き、習近平主席は証券監督管理委員会と会合を行なっている。特に中国における白金需要は多く、中国经济が白金価格の動きにインパクトを与えており、白金価格の低迷も中国需要の後退懸念が存在している。またPGM価格は2023年初頭から比べ1年間でプラチナが18%、パラジウムが51%、ロジウムが64%の下落を行っており、そのためインパラ・プラチナムは下半期の利益が85%以上減少する可能性が高いと発表し、アングロ・アメリカ・プラチナムも2023年度の利益が79%減少すると発表している。

そのためNY白金は944ドルの高値から873.3ドルまで下落し、白金標準先物も4396円から4250円まで下値を模索している。特に白金標準先物は為替市場の円安を受け4250円で下げ渋る動きを見せており、中国の春節中に底打ちを示す事が出来れば、春節明けからの中国需要の回復で再度4300円を試す値動きが強まると思われる。

<テクニカル>

白金標準先物の日足をMACDとRCIで見た場合は、MACDではMACDが下げて、シグナルも切り下げている。RCIでは短期が下げ止まり、長期は上昇を続けている事から今しばらく底張り続け、4250円以下を固めた後は底値を切り上げると思われる。

このレポートはお客様への情報提供を目的としています。情報に関しては正確を期するよう最善を尽くしておりますが、内容の正確性、信憑性に関し保証をするものではありません。利用にあたっては自己責任の下で行ってください。売買の判断はお客様御自身で行ってください。

○商品デリバティブ取引は最初に委託者証拠金等の預託が必要で、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚当たり通常取引 2,500,000 円(2024 年 2 月 13 日現在)です。また、委託者証拠金は相場変動や日数の経過により追加預託が必要になることがあり、その額は商品や相場の変動によって異なります。○商品デリバティブ取引は相場の変動によって損失が生ずることがあります。また、実際の取引金額は委託者証拠金の約 10 倍から 70 倍と著しく大きいため、損失額が預託している委託者証拠金の額を上回ることがあります。○商品デリバティブ取引は委託手数料がかかり、その額は商品によって異なりますが、最高額は 1 枚あたり往復 68,640 円(2024 年 2 月 13 日現在)です。手数料額は相場変動により増減する場合があります。

当社(商品先物取引業者)の企業情報は当社本・支店及び日本商品先物取引協会で開示しています。お取引についての御相談は、当社顧客サービス担当(東京)電話 03-5540-8423 (受付時間:平日 8:30~17:30)
証券・金融商品あっせん相談センター <https://www.finmac.or.jp> 日本商品先物取引協会相談センター
<https://www.nisshokyo.or.jp>